

目 次

2000年代前半のドイツにおける労働組合と協約自治

—ハルツ改革および法定最低賃金制度との関係から—	榎田大知彦	1
はじめに		1
第1節 産業レベルの労働組合と事業所レベルの経営協議会の関係		3
第2節 2002年10月までの展開—ハルツ委員会と2002年連邦議会選挙—		5
第3節 2002年10月から2003年9月までの展開—ハルツ改革の進展—		11
第4節 2003年9月以降の展開—DGBの運動と歩み寄り—		20
おわりに		26

「働き方改革」の深層—アベノミクスで浮上した論点をめぐって—

	高橋 祐吉	30
はじめに		30
1. 景気の現状から見えてくるもの		30
2. 働き方はどのように変容したのか		36
3. 正社員の「働き方改革」の諸相		41
4. 不安定化する労働市場		49
5. 「働き方の多様化」とは		55
6. 非正社員の処遇の改善をめぐって		63
おわりに		74

編集後記		76
------	--	----